

Press Release

平成29年秋の外国人叙勲 アーネスト・J・モニーツ元米エネルギー長官の旭日大綬章受章

平成29年11月3日
在米国日本大使館

平成29年11月3日（日本時間）、日本政府は、平成29年秋の外国人叙勲受章者を発表し、この中でアーネスト・J・モニーツ元米エネルギー長官が叙勲されることが公表されました。同氏は、日米間のエネルギー分野における関係強化に寄与した功績が認められ、本年、旭日大綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜： 旭日大綬章
- ・功績概要： 日米間のエネルギー分野における関係強化に寄与
- ・氏名： アーネスト・J・モニーツ (Ernest J Moniz) (72歳)
- ・主要経歴： 元 米エネルギー長官
現 マサチューセッツ工科大学名誉教授兼学長特別アドバイザー
- ・住所(国籍)： アメリカ合衆国マサチューセッツ州ブルックライン町(アメリカ合衆国)

モニーツ氏は、元米エネルギー長官を務め、米国及び世界におけるエネルギー分野で重要な役割を果たしてきました。日米関係においては、東日本大震災に伴い発生した福島第一原子力発電所事故後の日本の原子力政策、廃炉・汚染水対策を技術面・政策面から支援し、信頼回復、廃炉事業の推進に大きく貢献しました。また、米国内産エネルギーの輸出を促進し、日本企業のLNG(液化天然ガス)プロジェクトの輸出及び建設に係る承認を迅速に行い、最大の同盟国からの輸入を通じた日本のエネルギー安全保障の向上に、極めて大きな貢献をしました。さらに、G7伊勢志摩サミットに向け開催されたG7北九州エネルギー大臣会合において、「グローバル成長を支えるエネルギー安全保障のための北九州イニシアティブ」のとりまとめに多大なる貢献をし、サミットの成功を支えました。